

【予算案等提案理由】

続きまして、**新年度予算案**について申し上げます。

一般会計のほか、6件の特別会計、3件の公営企業会計の予算案を上程しており、いずれも、先ほど申し上げました取り組みを進めるため、本市の厳しい財政状況を踏まえつつ、予算を編成いたしました。

予算編成にあたりましては、「第2期中期財政運営方針」に掲げる、事務事業の見直しや公共施設の適正化など、財政健全化の取り組みを継続・強化するとともに、子育て支援拠点施設の整備など、本市の持続的発展に繋がる大型ハード事業を計画的に進めるため、その他の投資的経費を極力抑制し、後年度の財政負担の軽減・平準化に努めたところです。

また、市政運営の指針である「第2次大田市総合計画・後期計画」に掲げる将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」の実現に向けた施策につきましては、重点的に予算配分いたしました。

歳入につきましては、賃金水準の上昇等により市税の増収が見込まれるほか、地方交付税や地方消費税交付金も増収となる見通しであることから、基金からの繰入金を除いた一般財源の総額を、対前年度5億2千万円余の増と見込んでいます。

歳出につきましては、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高の影響を受ける市民や事業者への支援策を講じるとともに、持続可能

な行財政運営の実現に向け、これまで以上に事業の選択と集中を徹底し、可能な限り収支不足の縮減に努めたところです。

この結果、一般会計当初予算の総額は、対前年度7億8千万円、3.0%増の、267億6千万円としたところであり、本予算を「市民の暮らし・子育てを支え、おおだの未来をともに創るための予算」と位置づけ、先に申しあげました施策を迅速かつ確実に実行してまいります。

特徴的な事業といたしましては、島根県の低所得世帯緊急支援給付金に市独自の上乗せを行う「物価高騰対策低所得者支援給付金給付事業」、大田市における子育て支援の中核となる施設を整備する「おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設整備事業」、就学前の子どもの健やかな成長・発達を促進する「年中児育ちの応援相談事業」、官民一体となって取り組む「世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年記念事業」、令和12年開催予定の島根かみあり国スポ・全スポに向けた大田総合体育館の空調整備等を行う「都市公園整備事業」、書かない窓口等を実現する「窓口デジタル化推進事業」、住民サービスの向上と業務効率化を図る「住民票等コンビニ交付事業」、「予防接種デジタル化事業」などであります。

このほか、市民の皆さまの子育て環境や教育環境の充実、観光・産業振興、消防・防災力の強化、協働・共創のまちづくりや大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保につきましても、引き続き取り組んでまいります。

老朽化が進む現校舎の建て替えを予定しております大田小学校につきましては、

本来であれば当初予算において工事費を計上するところではありますが、実施設計が本年5月頃に完了する予定であり、現時点では工事費の積算を行うことが困難であることから、今後、補正予算での計上を行いたいと考えております。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等につきましては、その対応調書をタブレットに掲載しています。

次に、**令和7年度の補正予算案**につきましては、一般会計のほか、6件の特別会計、3件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程しています。

一般会計補正予算につきましては、国庫補助金や過疎対策事業債の追加配分に伴い、事業の計画を前倒して実施する事業や、各種基金への新規積立金等を計上する一方、各種事業の実績減を併せて計上し、総額2億2千3百万円余を減額するものであり、補正後の一般会計の予算総額は、274億4千3百万円余となります。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案につきまして、本会議へ提案いたしております。詳細につきましては、それぞれ担当部課長に説明させていただきますので、十分にご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆さま、市議会議員各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、施政方針並びに提案理由の説明といたします。